

業務名（業務コード）			貨物確認情報訂正（C P K）																	
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件									コード	入力条件／形式		
								訂正			削除			追加						
1		入力共通項目		an	398			M				M				M				
2		到着便名 1	FL1	an	6			M				M				M				(1) 航空会社コード＋フライト・ナンバーを入力 (2) フライト・ナンバーについては3桁または4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。 (3) システム外税関空港から保税運送されてきた貨物のうち、仮陸揚貨物情報を登録する場合は、「ZZ」＋他空港向一括保税運送承認番号を入力 (4) 要目録訂正貨物の場合は、「ZZ」＋要目録解除番号を入力
3		到着便名 2	FL2	an	5			M				M				M				便名の日付部を以下の形式で入力 DDMMM
4		保税蔵置場	HWH	an	5			C				C				C			保税地域コード	(1) 他所蔵置場所へ取卸す場合は、他所蔵置場所コードを入力 (2) 入力者が保税蔵置場の場合は、入力不可。ただし、他所蔵置場所へ取卸す場合は除く (3) 入力者が航空会社の場合で、仮陸揚貨物、他空港向一括保税運送貨物、航空会社保税蔵置場向け社用品または他空港向一括保税運送仮陸揚貨物の場合は省略可 (4) 到着即時輸入申告扱い用の蔵置場所は入力不可
5		ULD収容貨物表示	ULS	an	3			C				X				C			IATA空港コード	(1) ULD収容の他空港向一括保税運送貨物の確認入力の場合のみ、AWB情報登録業務で登録された到着空港を入力 (2) 入力者が航空会社の場合は、入力不可 (3) 他所蔵置場所へ取卸す場合は、入力不可
6		差日数	SNS	an	2				C			X					C			(1) ULD収容の他空港向一括保税運送貨物で到着年月日と入力年月日が異なった場合は、その差日数を正負の符号付きで「-9」から「9」まで入力 (2) 入力者が航空会社の場合は、入力不可 (3) 他所蔵置場所へ取卸す場合は、入力不可
7		無料期間適用表示	MTH	an	1			X				X				X				
8	10	AWB番号	AWB	an	20			M				M				M				(1) AWBの場合は、AWB番号を11桁以内で入力 (2) ULDの場合は、ULD番号を14桁以内で入力 (3) 先頭3桁が「XXX」の場合は、処理対象外とする
9	*	ULD表示	ULD	an	1				X				X				C			(1) UDA業務で仕分けたULDインタクト貨物の場合は、「I」を入力 (2) UDA業務で仕分けたバラ貨物の場合は、「L」を入力 (3) ULDの場合は、「K」を入力
10	*	個数	PCS	n	6				C				X				C			(1) 重量訂正入力の場合は、入力不可 (2) ULDの場合は、入力不可 (3) バラ貨物がない場合は、「0」を入力
11	*	重量	WGT	n	8				C				X				C			(1) 整数部6桁、小数部1桁で入力 (2) 重量訂正入力の場合は、必須入力 (3) 個数に「0」が入力された場合は、入力不可 (4) ULDの場合は、入力不可
12	*	重量単位コード	JTI	an	3					C			X					C	重量単位コード	(1) ULDの場合は、入力不可 (2) 省略した場合は、上位欄の重量単位コードを引き継ぐ KGM：キログラム LBR：ポンド
13	*	特殊貨物記号	SPC	an	3				C				X				C		SPC（特殊貨物）コード	ULDまたはULDインタクト貨物の場合は、入力不可
14	*	訂正理由コード	RSN	an	3				M				M				M		訂正理由コード	MST：入力ミス MSC：ミスカウント